

# 新型コロナウイルス感染症に関する休講措置等のガイドライン（2020.3.1制定）

## 1. はじめに

新型コロナウイルス感染症。この未知なる存在によって、今や日本おろか世界中が混乱しています。楽観的な空気がいつからか急に深刻化し、WHOや日本政府の対応や発言も変わり、日々真偽定かではない様々な情報が飛びかっている状態です。「この2週間が山場」と言われてどのくらい経ったのでしょうか。「永遠の2週間」などと揶揄されている先の見えない状況の中、政府による突然の「小中高の一斉休校」の要請。現場も家庭も大混乱に陥っています。そして、期間は違えど、多くの学校が休校という判断を下しました。しかし、それは先の見えない判断だと言えるでしょう。

私たち受験産業界も、「学校の一斉休校」を受けて、「休講」か「授業継続」かという判断に迫られました。その中で啓進塾は「授業継続」という判断をしました。

その啓進塾の判断は「2」で述べるとして、今までに「先の見えない」状況で各ご家庭も不安やストレスを抱えていることと思います。通塾に関しても、今後に対する不安等があると思います。「もし何らかの出来事が起きたら、塾はどうなるのだろう…」。そんな不安を持っている方も多いと思います。

そのような際に、対応が後手後手に回らないようにすると同時に、少しでも不安を軽くするとともに、ガイドラインを示して、「こういう場合はこうしていく」ということを皆様にイメージしてもらおうと考えました。

## 2. 啓進塾のスタンス

啓進塾は「授業継続」という判断をしましたが、それは「現状」や「政府の決定」を軽んじているわけではありません。私たちが重視しているのは以下のことです。

①国が一丸となってコロナウイルス感染の拡大防止を目指すという動きに協力していく。

②そして、啓進塾の塾生とその家族、啓進塾の職員とその家族の感染を防ぐ。

③それと同時に、塾生やご家庭の「授業継続」希望の声に応える。

①や②に関しては言わずもがな、当然のことだと思います。しかし、それと③を両立していくのがなかなか難しいことです。

③に関しては、ただ単に「学習が遅れる」ということでの「授業継続希望」ではないと思います。むしろ啓進塾においてはその面での声は少ないかもしれません。

啓進塾の生徒にとって、塾はただ「勉強をする場」にはとどまらず、もはや「生活の一部」になっていて、「塾が居場所」になっていることが多いようです。実際に授業継続の判断をした際も、そのような声を多く頂きました。

だからといって、安易に「授業継続」を決めたわけではありません。現在の様々な状況から判断して、「できる限りの取り組み」を行った上で「授業継続」を決めました。その取り組みに関しては「4」で述べています。また、「塾内での食事を避ける」、「行き帰りはラッシュ時を避ける」ために、学校休校中は授業時間を早めることも行っています。しかし、ご家庭の判断で「塾を休むこと」を選ばれる方もいると思います。それによって「休むことへの不安」が生じることも考えられます。その際には、各校舎にご連絡下さい。状況に応じて何らかの対応を考えていきたいと思っています。

啓進塾が選んだ「授業継続」という判断は、あくまでも現状を鑑みたものです。今後事態が何らかの形で急変していくかないとも限りません。そうなった場合には、①②をないがしろにしないためにも、「休講」という判断を選ぶこともあるかもしれません。それに関しては「3」で述べています。

とにかく、現在は先の見えない状況だと思います。未知なる相手にどう対処していくか……。それは私たちだけではなく、政府、地方自治体、現場で懸命に対処している医療従事者の方々……。みなさんがそういう状況なのだと思います。その中で、私たちは①②③に挙げたことを最重視して、モアベターな選択をしていけるように心がけていきます。

### 3. 休講措置について

#### ①以下の場合は休講措置をとる。

- A. 塾生が感染媒体となる可能性が否定できない場合。例) 塾生の同居人が感染するなど
- B. 職員が感染媒体となる可能性が否定できない場合。例) 職員の同居人が感染するなど
- C. 塾生が通っている小学校で感染者が出た場合。
- D. 校舎最寄りの駅、及び周辺の商業施設等が感染源となっている場合。
- E. 校舎近隣で感染が見られ、感染が校舎のある地域まで広がる可能性を否定できない場合。
- F. 今後、特別措置法の改正などにより「緊急事態宣言」が出され、休講が義務付けられた場合。

#### ②休講の期間

基本的には状況によって判断しますが、現状においては、A～Dは1～2週間、Eに関しては距離や状況によって3日間～とします。Fに関しては「休講義務」が解除されるまでとします。

#### ③休講や再開の連絡

基本的に啓進塾のHP (<https://www.keisin.com/>) とメール配信によって告知します。

#### ④休講への対処

原則として休講に対する「振替授業」を行っていくことで対処していきます。現段階で、「振替授業」の必要性が出たときは、以下の期間を候補として設定する予定です。

- A. 春期講習の前
- B. ゴールデンウィーク期間
- C. 夏期講習の前後
- D. お盆の期間

また、「啓進テスト」においては、カリキュラムの進行に合わせて実施日も遅らせることもあります。

### 4. 開講中の取り組み

#### ①塾側の取り組みとして以下のことを実施しています。

- A. 手洗い・うがい・手の消毒を徹底指導しています。
- B. トイレ・手洗い場に、ハンドソープ、各校舎入り口に手指消毒液を設置し、頻繁に声かけをしています。
- C. 職員のマスク着用や出社時の検温を義務化しています。
- D. 各授業とも頻繁な換気および机や手すり等、校舎備品の定期的な消毒をおこなっています。
- E. 感染ルート遮断のため、啓進文庫の書籍の閲覧、貸し出し、知育玩具の使用を禁止しています。

また、友人同士の文具類などの貸し借りも禁止しています。

#### ②各家庭への協力として以下のことを促しています。

- A. 発熱や風邪の症状がある場合、その他体調不良での来塾は遠慮ください。  
家を出る前には、必ず検温をお願いします。
- B. 体調不良の生徒さんが確認された場合、症状が軽くても即時退出していただき、別室での看護といたします。  
その際、保護者の方へお迎えをお願いすることとなりますので、ご承知おきください。
- C. 授業内外での水分補給のために水筒などをご持参ください。
- D. マスク着用の推奨をしています。